

小テーマ（１）災害対応能力について、建設地の安全性について

安全な場所かどうか	
災害に巻き込まれない場所かどうか	佐藤委員
地盤調査の比較、水害時の対応のあり方を明確にして判断すること	井上委員
建設地の安全性、地震、浸水等に対する安全性の確認	城處委員
立地、水害、地震での安全確保　せめてハザードマップ	林委員
液状化の被害がない場所	林委員

建物が強靱かどうか	
災害対応、地震対応問題なし　摩擦ダンパーでこれまでの60％は抑えられる　建物自体が数十階のものでない	古庄委員
脆弱な点としてV字工法　これは世界初のリングのしん棒が新たに生まれてきている点	古庄委員
橋梁もリング化へ　油圧で安全化に	古庄委員

災害対応機能の有無	
災害対策本部として機能するかどうか	佐藤委員
災害本部としての立地条件（防災拠点、アクセス、駐車場）、通信指令部との関係（情報の集約）	城處委員
通信体制の確保　リモート可か	林委員
消防との連絡・連携のあり方	井上委員
防災本部機能	玉置副委員長
災害用車両の安全な体制確保	林委員
災害物資の確保スペース	林委員

避難所機能	
避難スペースの確保	井上委員
地震、水害等十分に機能する　避難場所も含める	玉置副委員長

職員	
司令塔	
職員が集まれるかどうか	佐藤委員
対応される職員の安全と環境の整備	佐藤委員
大雨によるものが多いを前提に、職員の集合に対する懸念	寺島委員
出撃拠点	
職員の動員体制の確保ができるか	林委員
1 庁舎へ　2 福祉避難所へ　3 被害場所へ	
地震によるものを前提に、南北の遮断に対する懸念	寺島委員

災害の種類によって求められる対応が違ってくることを前提に	寺島委員
------------------------------	------

小テーマ（２）必要業務量に対する庁舎の在り方について

市民にとっての使いやすさ	
業者対応の一連化	寺島委員
申請はリモートでＯＫ 主に相談窓口の充実（課間わず）	寺島委員
一般市民（市民課、福祉課、保健センター）が対象のものは駅北庁舎がある	井上委員
特定（業者、議会等）に対応するものとしてコンパクトなものにすべき	井上委員
窓口業務と建設部門	林委員
終末業務の一連化	寺島委員
子育て業務の一連化	寺島委員
市民サービス ワンストップ	玉置副委員長
ネット接続環境	玉置副委員長
ＩＣＴの活用、ＡＩロボット、オンライン手続き	佐藤委員
ＤＸの活用、事務の合理化の進め方	林委員

将来展望との整合性	
業務量の把握、改善できるかどうか	佐藤委員
人口減少のスピードの確認（業務量分析）（政策的な論点）	林委員
人口減も見据えて過大なものにしない、ＩＴ活用が進むこと	井上委員
庁舎標準面積算出基準値が適正か	玉置副委員長

分散か、集約か	
交流センター等どこまで大きな施設と考えるのか できるだけちいさい機能的な庁舎でよい	林委員
集約化として、庁舎一箇所での集約は可能か	古庄委員
２庁舎体制（分散型）のメリット、デメリット	城處委員
市民の移動交通	玉置副委員長

職員にとって使いやすいか	
職員が働きやすいかどうか	佐藤委員
効率化のための新しいレイアウト	佐藤委員
職員にとっても庁舎内移動ロスのないこと	玉置副委員長
床面積の取り方、高さ等効率的な設計を研究	井上委員
職員用スペース	玉置副委員長

議会	
議会棟のあるべき姿	城處委員

作戦司令室のような情報を集積させる機能は追加しておく	林委員
危機管理拠点 見える化	古庄委員
技術職の拠点機能 駐車場 倉庫	城處委員

小テーマ（３）庁舎の与える経済効果について

メリット⇒効果の検証が必要	
外から	
集客効果 来庁者の及ぼす経済効果	城處委員
近隣店舗（飲食、その他）	寺島委員
来庁者が買い物、食事をする	林委員
内から	
職員の及ぼす経済効果	城處委員
勤務する職員の持つ購買力	林委員
職員による直接消費（食事、駐車場等）	玉置副委員長
周り	
庁舎が周辺の土地利用に与える影響	城處委員
近隣駐車場（職員含む）	寺島委員
資産価値の向上	寺島委員
新庁舎を中心とした公共、民間の各施設が集合することで人の移動が容易になる	古庄委員
民間企業の出店（公益施設）	玉置副委員長
（日ノ出町）日常生活での経済循環とともにあり、その要素として成立している	林委員
周辺のまちづくりに与える影響	城處委員

欠点	
通勤時間帯による混雑によるロス	寺島委員
人が増えるが、あまり経済的效果はない	井上委員
地価が高いところだと税等が入らない	井上委員

庁舎そのものはお金を生まない	
庁舎が商業等複合施設となれば経済的效果はある	井上委員
市本庁舎には単独でにぎわいをつくり出す機能はない	林委員
駅北庁舎のにぎわいは経済的循環にはつながらない	林委員
駅北庁舎のにぎわいのためには交流センター機能が必要であるが、そのコストをだれが払うのか	
（駅北）商業・業務機能の場所であり、庁舎機能では経済的效果を生み出せない	林委員
行政の仕事は、市民が経済的に活動できる基盤づくりであり、行政がにぎわいを生むことはない	林委員
ランドマークとしてにぎわい創出	玉置副委員長

歴史、文化、芸術、居住、福祉や防災等、地域活性化が生まれる	古庄委員
セラミックバレー中心拠点としての経済効果	古庄委員
環境への配慮とライフサイクルコストの縮減が見込める	古庄委員

小テーマ（４）コンパクトシティとの関わり

そもそもコンパクトシティとは	
そもそも多治見市におけるコンパクトシティとは	城處委員
国交省モデル ネットワーク型コンパクトシティは人口10万人くらいのまちでは成立しない ネットワーク型というなら道路網、公共交通、スポンジ化しない郊外計画を達成する	林委員
コンパクトシティの中心になる必要はないが、ワンストップで来庁できるのはよい	井上委員

今の方向性に疑問	
中心市街地の範囲をどう考えるか 基本的に河岸段丘の中（精華、養正、昭和、池田、小泉）	林委員
多治見市での中心市街地 歴史の中で生まれ（25年前から新規投資が十分されていないが）駅と日ノ出町という双核となって人が動く コミバス15分間隔でよい	林委員
人が動かなければ経済は動かない 国から認められなかった中心市街地活性化基本計画を見直す ここからスタート	林委員
駅周辺整備事業は、巨額な市税を投入してきた この土地利用のデザインについて十分な市民合意が必要	林委員
各地域でも核となる施設は必要 例：公民館、交流センターなど	井上委員
中心地発展とそうでない市外地への対応	古庄委員

在るべき庁舎像⇒どこにあっても便利であるのは大前提	
親しみやすい庁舎をつくる（来やすさ）	寺島委員
コンパクトシティにおける道路網の在り方	城處委員
道路交通の問題 市は人と街をつなぐ 人々への足対応	古庄委員
コンパクトシティにおける公共交通の在り方	城處委員
公共交通のハブ地点で公共サービス	玉置副委員長
コンパクトシティは交通手段の整備が不可欠である 庁舎のみでは無理	井上委員
どちらに建っても公共交通が充実することが必須	寺島委員

庁舎周辺のまちづくりとの整合性	城處委員
市民の活用スペースの使い方で、まちづくりの拠点となる	寺島委員
今後の人口減少に鑑み、時代リスクにあった建物とまちづくり	古庄委員
魅力のあるまちづくりの中心部が必要だが、その一つにはなるだろう	井上委員
都市機能 立地誘導（地域拠点）	玉置副委員長

小テーマ（４）－２ コンパクトシティのメリット・デメリット

メリット	
公共サービスの集中⇒コストの削減	
行政コストの削減	城處委員
将来において行政コストが縮減できる	林委員
公共物に対する税金の投入減	寺島委員
施設、インフラ整備を効率的にする	井上委員
公共サービス拠点	玉置副委員長
同じサービスが受けられる	寺島委員
中心市街地の活性化	
（集中化による）ＢＫ、商業施設、税務署、病院等	古庄委員
街に行ってくるという意識になる	井上委員
魅力的な街が不可欠	
人口減少してもにぎやかに暮らせるまちにできる	林委員
公共交通の維持、利用者の集約	
公共交通利用	玉置副委員長
郊外の役割が明確化	
周辺地域をどう活性化させるか知恵が必要（市民農園、公園、健康づくり）	井上委員
デメリット	
郊外の人が公共サービスを受けにくい	
対面が必要な場合、そこへ出かけなければならない	城處委員
歩いて行ける距離感に逆行する	寺島委員
郊外からの移動手段と費用	寺島委員
中心地域外からの移動ロス	玉置副委員長
郊外の衰退	
買い物難民	古庄委員
周辺地域の整備がおろそかになる可能性	井上委員
郊外と中心拠点の格差是正	古庄委員
郊外地域での衰退が急速化する	林委員
住民の不公平感が高まる	林委員

公共と民間との競合関係	玉置副委員長
-------------	--------

小テーマ（５）交通渋滞について、駐車場について

市民にとっての訪れやすさ	
公共交通との関連性・重要性	
公共交通の整備	城處委員
車の移動が多い。駐車場は必要だが公共機関を使用させるなら、まちの設計から考える必要がある。経済効果で一緒に議論。	佐藤委員
自家用車よりも公共交通が便利である（市民）	玉置副委員長
交通渋滞が減るような公共交通の充実を図る（渋滞時間帯をターゲットに）	寺島委員
規模	
200台の確保で市民利用は可能か	古庄委員
将来の人口の設定と将来の車の利用を検討し精査する	古庄委員
人口減と高齢化によって車の利用者減が見込まれる	井上委員
駐車場のあり方にどう位置付けるか	
市民用駐車場	玉置副委員長
公用車、職員用	
職員用（自家用）駐車場の確保	玉置副委員長
職員（公用車）移動ロス、近くに駐車場確保	玉置副委員長
利便性	
駐車場は近くにこしたことはない（地上につくる）	寺島委員

コスト	
民間駐車場との調整	城處委員
駐車場に関するコスト	城處委員
駅北側が駐車場だらけになるのはさけるべき	井上委員

庁舎が渋滞を増加させないか	
庁舎ができることによる市内交通への影響はあるのか	城處委員
整備されつつある駅北 順次通過車両台数は増加している ここに庁舎用の車両を加える必要はあるのか	林委員
庁舎に車が集中することによって地域住民の車の移動が妨げられる	井上委員
交通渋滞については白山太平線の早期実現 庁舎市民利用について（仙台市参考、先進地事例）	古庄委員
新しい都市計画道路の完成が庁舎建設とどう関係するか	井上委員
災害が発生した時、移動ができる環境であったほうが良い	佐藤委員

そもそも駐車場とは	
駅北地区は整備地域がせまく、周辺の地域との連携が悪い。この状態で不要不急の交通を増加させてはいけない。	林委員
川南方面の人は、多治見橋、記念橋以外からの人は現状の渋滞に巻き込まれてしまう。マイナスのそのコストは。	林委員
自動車での来庁を必要とする人とは	城處委員
駐車場の重要性、必要性について	城處委員
そもそも大切な計画である庁舎において必要な駐車場が考えられていない。いまの能力にふさわしいか	林委員